



オモイをリレーする紙管とマチオモイのたび。

熊本・大分地震から一年、避難所で役目を終えた間仕切りは、大阪で開催された「マチオモイ帖」展の会場となりました。熊本・大分に向けて、大阪展の来場者からのメッセージが記された紙管は、オモイのバトンとなって、熊本・大分にやってきます。



マチオモイ帖

日本全国のクリエイターたちが「大事なマチ」を想い、冊子やポストカードのカタチにして紹介する「マチオモイ帖」。2011年から続く話題の展覧会が、大阪、因島（尾道市）での展示を経て熊本・大分にやってきます。ガイドブックにも載っていない町や、知らなかった町、今まで見たこともない景色がひろがります。



写真提供: Voluntary Architects' Network (VAN)

PPS Paper Partition System

今年の熊本・大分での地震の際、避難所の間仕切りとして活躍した、紙管と布を使った建築家・坂茂さん考案の「PPS4」。避難所から仮設住宅へと移り、役目を終えてしまいましたが、その紙管と布を再利用し、熊本・大分の建築家が展示空間へとデザインし直しました。

マチオモイな熊本・大分の取り組みも会場に展示！



熊本

NOREN project

熊本の避難所で役目を終えた間仕切りを「のれん」にリメイクして、仮設住宅に届けりプロジェクト。



大分

こどもボウサイ

(大分会場のみ)

知ることが一番の防災。家族で学べる、楽しく、地域に根ざした防災情報を伝えるプロジェクト。

<主催> 熊本・大分マチオモイ実行委員会 <共催> わたしのマチオモイ帖制作委員会

<協力> クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町、内海慎一 (コミュニティデザイナー)、

伊藤憲吾建築設計事務所、矢橋徹建築設計事務所、NOREN project、こどもボウサイ (大分市エリア)、株式会社 高山活版社

<お問い合わせ> おおいたマチオモイ実行委員会 担当: たなか (post@para-base.net)

